
送信者: "Haverhill Club" <haverhill@dknresearch.com>
送信日時: 2006年5月24日 19:46
添付: TW pcbshop_2005vs2004.pdf
件名: HC06040 台湾プリント基板メーカー 2004 / 2005出荷実績

ヘイビル・クラブの皆様

台湾のプリント基板メーカー、2004 / 2005出荷実績

台湾のプリント基板メーカーの生産データを正確に得るといのは、案外簡単ではありません。特にフレキシブル基板のメーカーには特別な難しさがあります。

近年、台湾のプリント基板メーカーも、ちょっと大きくなると、株式を上場するようになりますので、会社全体のファイナンスを得るのはそれほど難しいことではありません。しかし、中には大きくても上場しないメーカーもありますので、これらのメーカーは抜けてしまいます。また、大手電子機器メーカーの一部門として、プリント基板の生産を行っている場合や、プリント基板にさらに部品実装を行っている場合には、ベアボードの生産量や生産額を正確に得るのには、難しさがあります。

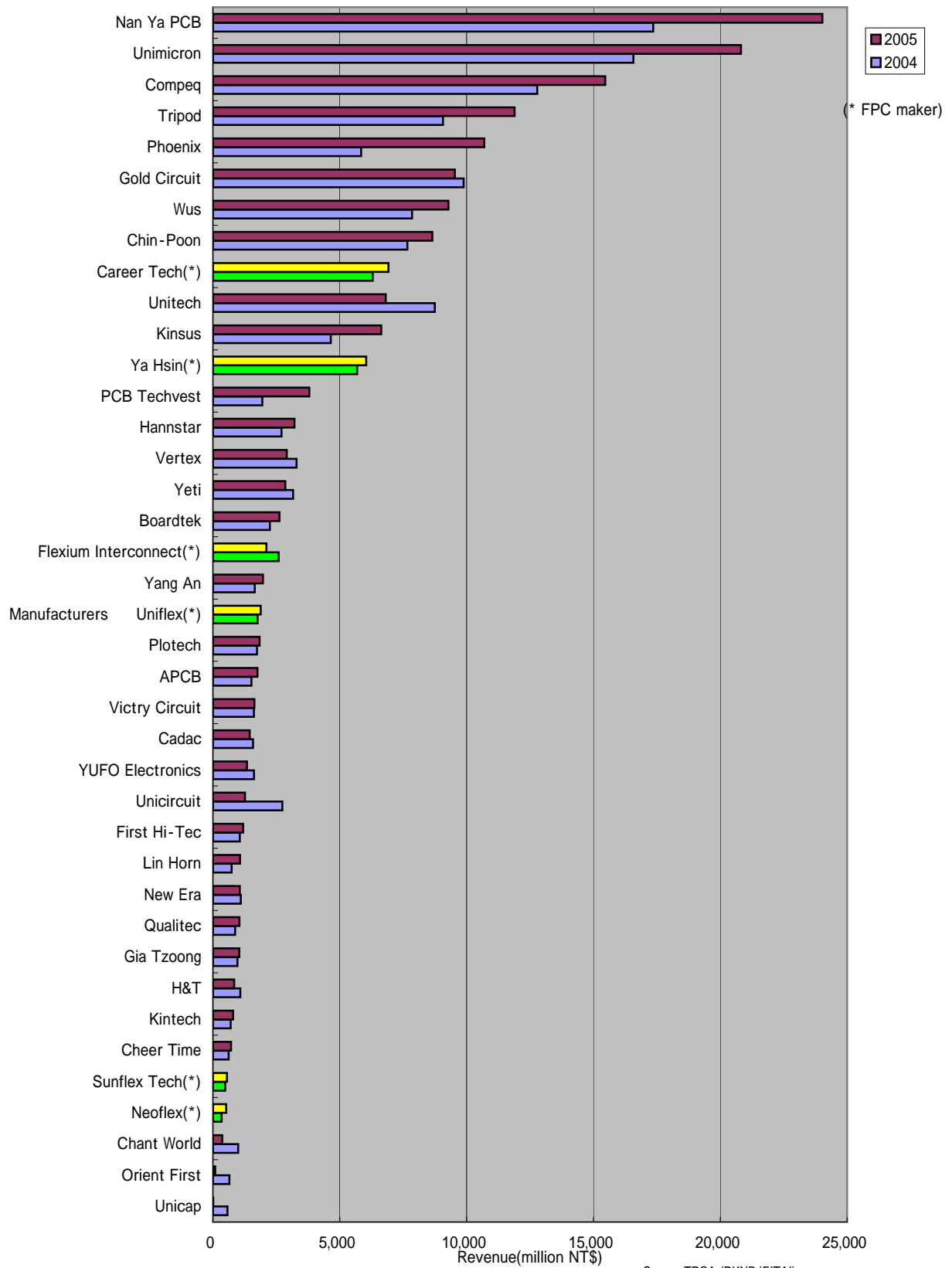
これに対して、TPCAが独自に集計しているデータは、ベアボードについてより正確な情報といえるでしょうが、これも抜けているメーカーが少なくないので、台湾のプリント基板産業全体を正確に把握するには不十分です。

このようなバック・グラウンドを理解した上で、今回ご紹介するようなデータを見ていただければ、それなりに意味があることだと思います。特に2004年と2005年との比較という観点では、成長している会社と停滞している会社が明確にわかります。特に大手の伸びが大きく、ヤシンのようなEMSの比率の大きいメーカー、半導体サブストレートの比率の大きなメーカーがめだっています。

一方、これらのデータには、ホンハイ(フォックスコン)のような大手EMSメーカーのプリント基板メーカーが含まれていません。このような、内製メーカーが製造している量は、かなり大きくなってきているとの情報もあります。フレキシブル基板メーカーの多くが、2004年から2005年にかけてあまり成長していませんが、大手需要家の内製によって、受注が減少したということの影響が大きいようです。台湾のフレキシブル基板生産量は、これらの数字に現れている以上に伸びているようです。

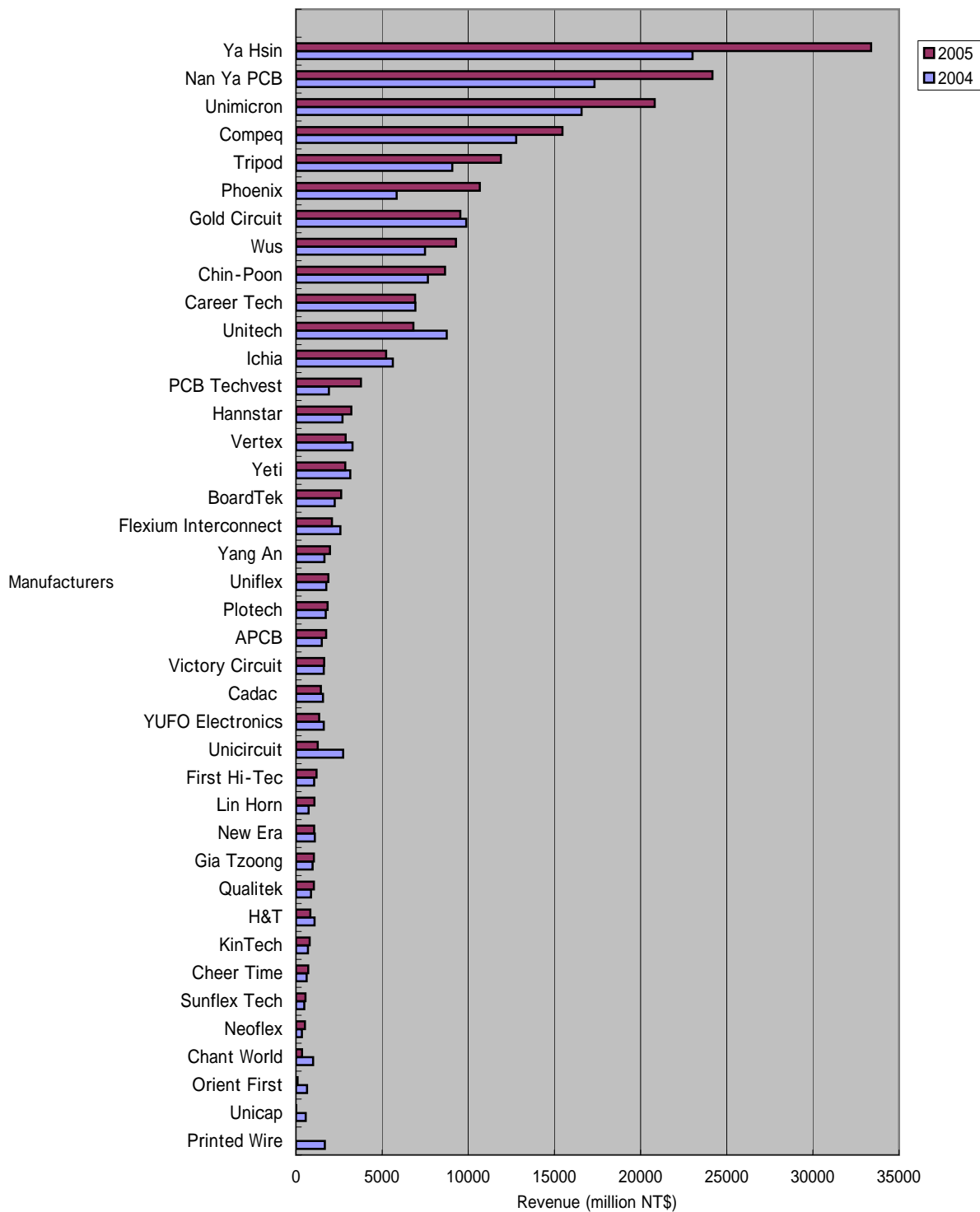
DKNリサーチ 沼倉研史

2004-2005 PCB Production in Taiwan



Source: TPCA (DKNR/EITAI)

2004-2005 Revenue of PCB Manufacturers in Taiwan



Sources: Company Financial Releases
(DKNR/EITAI)